

種名	キ ア シ シ ギ <i>Tringa brevipes</i> 												
分類	チドリ目シギ科												
特徴	飛んだときに背面に模様がまったくでない。中肉中背のシギ類。シベリア北東部の亜寒帯から寒帯で繁殖し、日本には旅鳥として春秋に普通に渡来する。												
生活	日本では4～5月と7～9月頃に、数十羽の群れが干潟、水田などで見られる。泥の上や浅い水中を活発に歩き回って採餌し、くちばしを泥の中に差し込んでカニやゴカイを捕まえたり、昆虫をついばんだりする。繁殖期にはツンドラ地帯に棲息するが、その生態は長い間不明であった。												
声	日本に渡来するシギ類の中で、アオアシシギとともにもっとも鳴き声がよく聞かれる。「ピューイピューイ」という特徴のある声のほかに「ピューイ、ピッ、ピピピピ」とも鳴く。群れている時にはよく鳴き交わし、特に飛びたつ時は、にぎやかである。												
見分け方	背面が一様に灰褐色であり、翼、腰などに目立つ模様がまったくない点が特徴である。くちばしはまっすぐで頭部の1.5倍弱の長さがあり、脚は黄色い。												
時期	(月)	—	—	—	4	5	—	7	8	9	10	11	12
その他	全長(L) 27cm 翼開長 (W) 49cm												
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥													